

島根県の経済動向

統第232号の2
令和8年10月2日

令和8年4～6月分

島根県政策企画局統計調査課

島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きがみられる

生産活動は緩やかな持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は改善の兆しがみられる。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は一部に弱い動きがみられる。

※矢印の向きは、前期分からの動き（↑上向き、→同水準、↓下向き）を示しています。

生産活動	↑	緩やかな 持ち直しの動き	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は105.2となり、前期比は+0.9%上昇し、前年比は+8.5%と2期連続で上回った。 生産活動は、緩やかな持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	→	改善の兆し	雇用面は有効求人倍率は1.51倍で前期を+0.12ポイント上回った。新規求人数は+9.6%と2期連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は+2.8%と2期連続で前年を上回った。きまって支給する給与は+2.9%と2期連続で前年を上回った。 雇用情勢は、改善の兆しがみられる。
個人消費	→	持ち直しの動き	商業6業態販売額は+2.7%と6期連続で前年を上回った。新車登録台数は+10.0%と4期ぶりに前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	→	一部に弱い動き	建築着工床面積（非居住用）は+26.0%と8期ぶりに前年を上回った。公共工事請負金額は▲7.7%と2期連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は▲8.5%と4期ぶりに前年を下回った。 投資動向は、一部に弱い動きがみられる。
企業倒産		倒産件数 9件	企業倒産件数は9件。負債総額は5億3000万円。
金融情勢		貸出金残高は 対前年+2.1%増	銀行預金残高は、4期連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は、14期連続で前年を上回った。
物 価		対前年+1.8%上昇	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は101.6となり、前年比+1.8%の上昇となった。
その 他 (参 考)	島根県景気動向指数（CI） （令和8年8月31日公表）		CI先行指数（3か月後方移動平均値）は109.5となり、2期連続の上昇となった。 CI一致指数（3か月後方移動平均値）は139.0となり、2期連続の上昇となった。
	毎月勤労統計調査 （令和8年9月30日公表）		実質賃金（現金給与総額）は+1.0%と2期連続で前年を上回った。 実質賃金（きまって支給する給与）は+1.2%と2期連続で前年を上回った。
	法人企業景気予測調査結果 （令和8年6月11日公表）		財務省松江財務事務所が公表した現状（令和8年4～6月期）の景況判断BSIは、▲4.8%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 令和8年度の設備投資計画は、前年度比▲13.1%の減少見込みとなっている。（製造業▲15.5%、非製造業▲0.4%）

経 済 指 標		前年同期比（%） ただし*は除く。				
		R 7			R 8	
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	96.6	97.2	95.5	104.3	105.2
	* "（前期比）	▲ 0.7	0.6	▲ 1.7	9.2	0.9
	* "（前年同期比）	0.6	0.8	▲ 2.4	7.3	8.5
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.38	1.38	1.34	1.39	1.51
	新規求人数	▲ 4.9	▲ 5.8	▲ 12.1	2.5	9.6
	常用労働者数	1.3	1.2	1.3	1.4	1.4
	現金給与総額（名目）	▲ 1.8	1.1	▲ 4.1	2.3	2.8
	きまって支給する給与（名目）	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.6	2.3	2.9
	所定外労働時間（製造業）	▲ 2.3	2.2	5.8	6.5	12.1
個人消費	商業6業態販売額	2.6	1.7	1.9	2.0	2.7
	乗用車新車登録台数	7.7	▲ 8.4	▲ 7.9	▲ 3.6	10.0
	出雲空港利用者数	9.4	10.8	6.9	6.3	2.8
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲ 58.5	▲ 27.9	▲ 3.8	▲ 53.1	26.0
	公共工事請負金額	▲ 12.9	▲ 7.1	13.4	▲ 26.9	▲ 7.7
	新設住宅着工戸数	▲ 43.3	76.6	3.3	3.3	▲ 8.5
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	8	8	10	11	9
	* 負債総額（百万円）	1,465	547	1,111	900	530
金融情勢	銀行預金残高（期末）	▲ 0.3	0.2	0.3	1.8	2.2
	銀行貸出金残高（期末）	2.8	2.6	3.3	4.0	2.1
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.8	100.1	101.0	100.8	101.6
その 他	* 景気動向指数（CI先行指数・3か月後方移動平均値）	97.2	99.0	98.1	105.6	109.5
	* 景気動向指数（CI一致指数・3か月後方移動平均値）	124.0	123.9	121.0	128.8	139.0
	実質賃金（現金給与総額）	▲ 4.5	▲ 1.2	▲ 6.7	0.9	1.0
	実質賃金（きまって支給する給与）	▲ 3.7	▲ 2.5	▲ 3.3	1.0	1.2

経済動向に関する他機関の公表資料

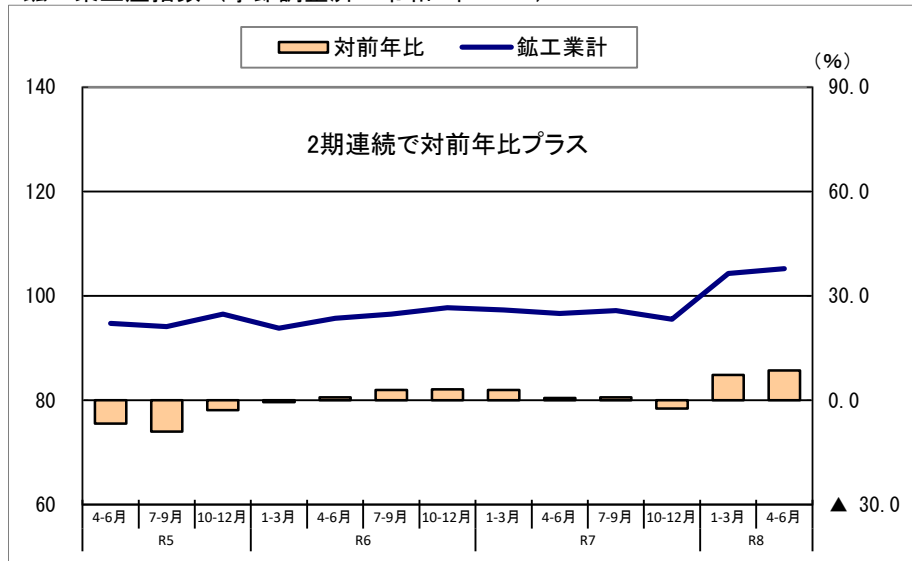
(各機関の最新の公表資料より抜粋)

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 令和8年9月29日
	景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。 ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。 ・ 設備投資は、持ち直している。 ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。 ・ 生産は、総じてみれば持ち直しの動きがみられる。 ・ 企業収益は、改善しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。 ・ 雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・ 消費者物価は、緩やかに上昇している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。
中国 地方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 令和8年9月17日
	緩やかな持ち直しの動きがみられる 1. 生産動向 …緩やかな持ち直しの動きがみられる 2. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動きがみられる 3. 雇 用 …有効求人倍率は前月に比べ低下、新規求人数は前年同月比で減少 4. 景 況 感 …現状、先行きともに前月に比べ上昇 5. 貿 易 …輸出、輸入ともに前年同月比で増加 6. 建設動向 …公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加 7. 企業倒産 …件数、負債総額とも前年同月比で減少 8. 設備投資 …2026年度計画は前年度を上回る見込み
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2026年8月7日
	山陰の景気は、持ち直している。最終需要をみると、個人消費は、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、緩やかに増加している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。製造業の生産は、持ち直している。この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。 ・ 個人消費は、堅調に推移している。 ・ 住宅投資は、弱めの動きとなっている。 ・ 設備投資は、緩やかに増加している。 ・ 公共投資は、横ばい圏内で推移している。 ・ 生産は、持ち直している。 ・ 雇用・所得環境をみると、持ち直している。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（株式会社山陰合同銀行）」 2026年9月2日
	不安定な海外情勢の影響などから生産活動は弱い動きが続いているものの、投資活動は全体として概ね堅調に推移し、個人消費も上向くなど、総じて緩やかな持ち直し基調となっている。 ・ 公共投資 …横ばい圏の動き ・ 設備投資 …好調な動き ・ 住宅建設 …弱めの動き ・ 個人消費 …上向きの動き ・ 生 産 …弱い動き ・ 雇用情勢 …弱い動き ・ 企業の業況判断 …足元改善、先行き悪化見通し
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 令和8年8月5日（四半期ごとに公表）
	県内経済は、緩やかに持ち直している ・ 個人消費 持ち直している ・ 生産活動 一進一退の状況にある ・ 雇用情勢 横ばいの状況にある ・ 公共事業 前年度を下回る ・ 設備投資 8年度は前年度を下回る見込み ・ 企業収益 8年度は減益見込み

〔四半期値の動き〕

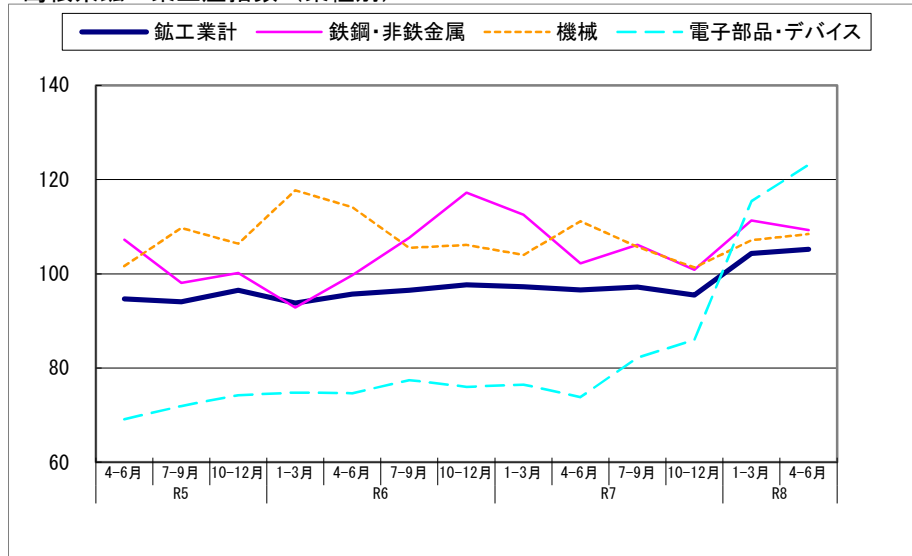
【生産動向】 緩やかな持ち直しの動き

鉱工業生産指数（季節調整済 令和2年=100）



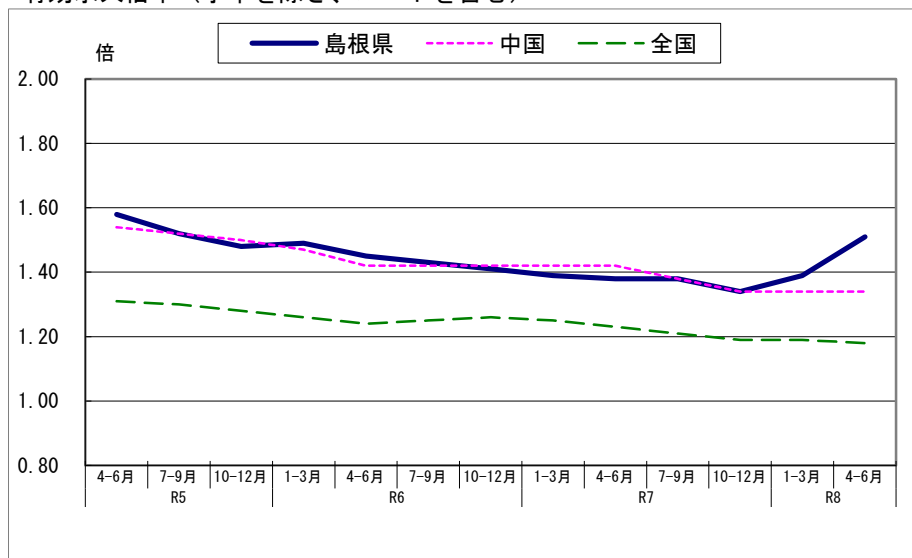
（注）対前年比は、原指数による

島根県鉱工業生産指数（業種別）



【雇用情勢】 改善の兆し

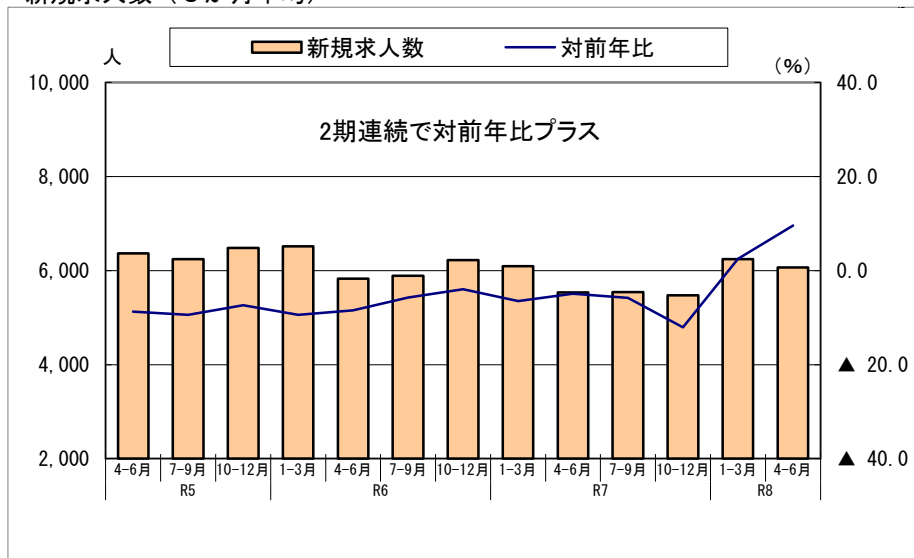
有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



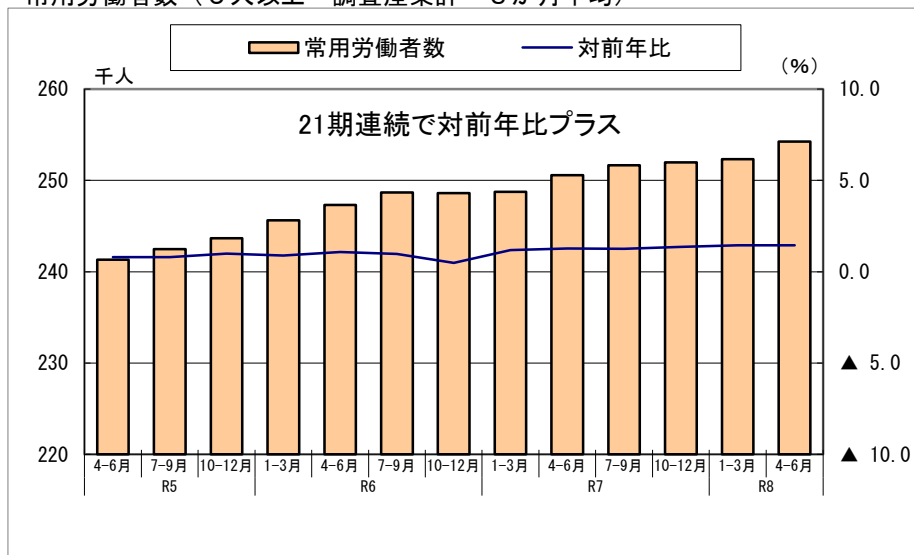
〔四半期値の動き〕

【雇用情勢】 改善の兆し

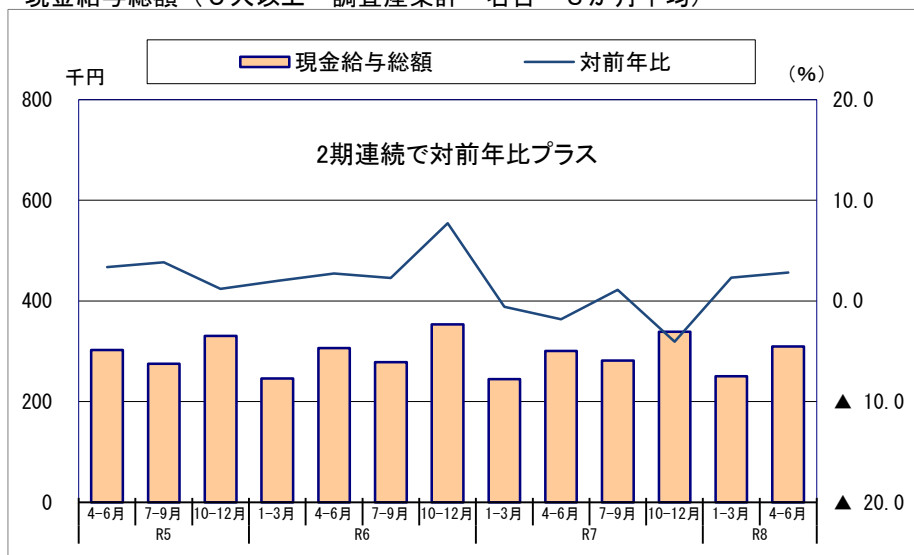
新規求人数（3か月平均）



常用労働者数（5人以上・調査産業計・3か月平均）



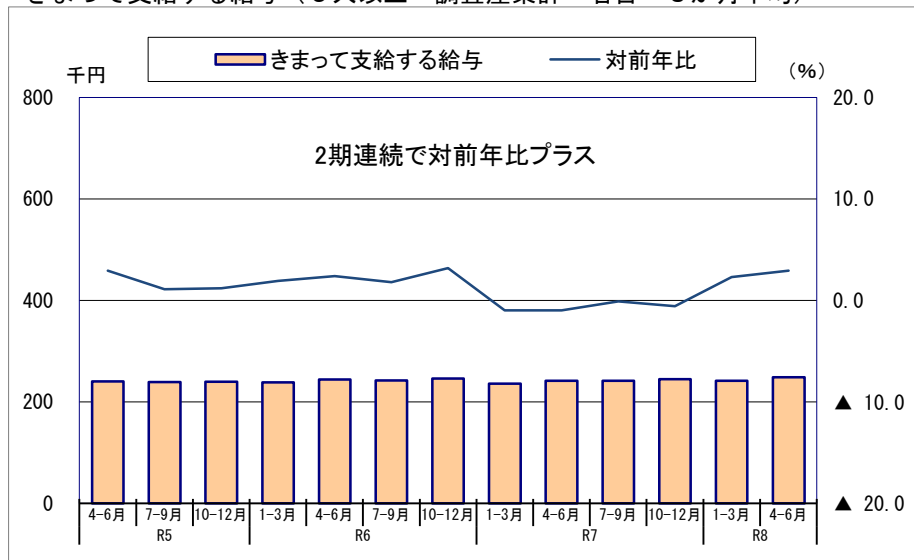
現金給与総額（5人以上・調査産業計・名目・3か月平均）



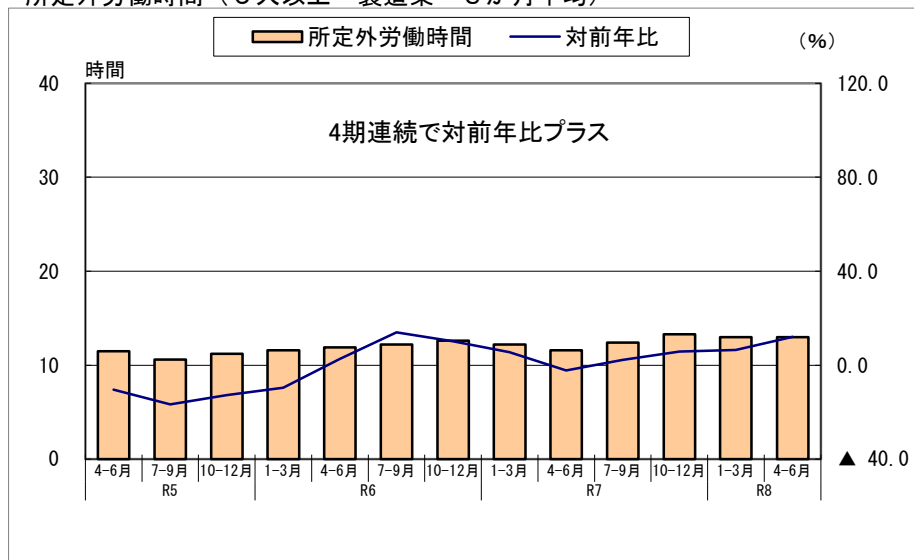
〔四半期値の動き〕

【雇用情勢】 改善の兆し

きまって支給する給与（５人以上・調査産業計・名目・３か月平均）

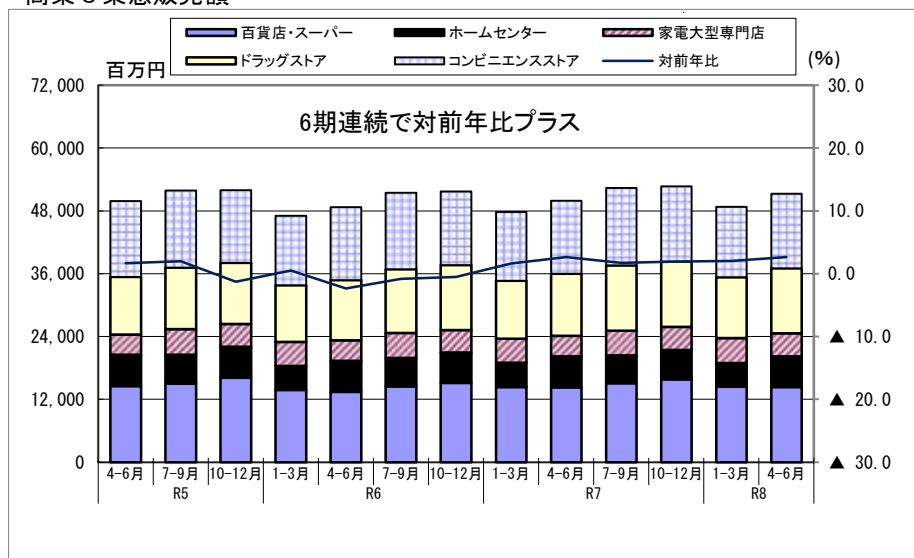


所定外労働時間（５人以上・製造業・３か月平均）



【個人消費】 持ち直しの動き

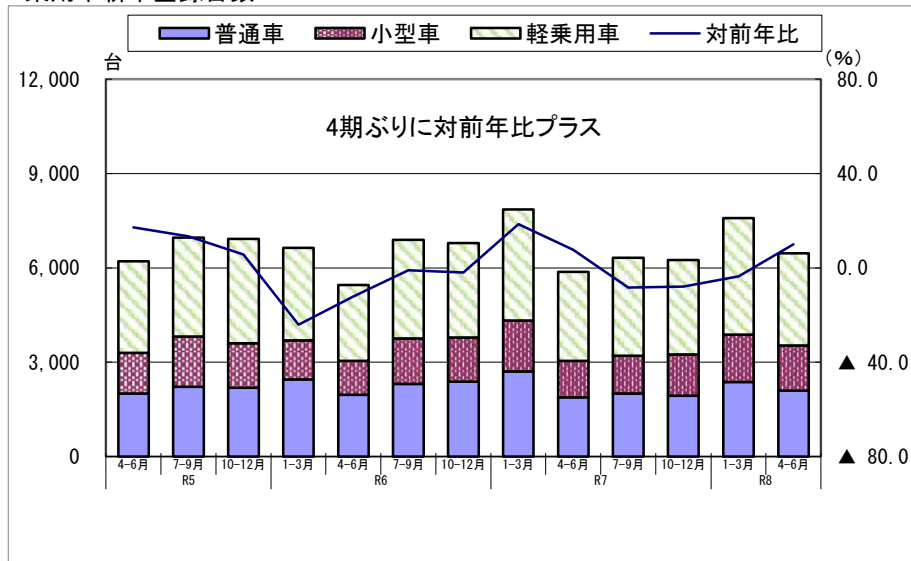
商業６業態販売額



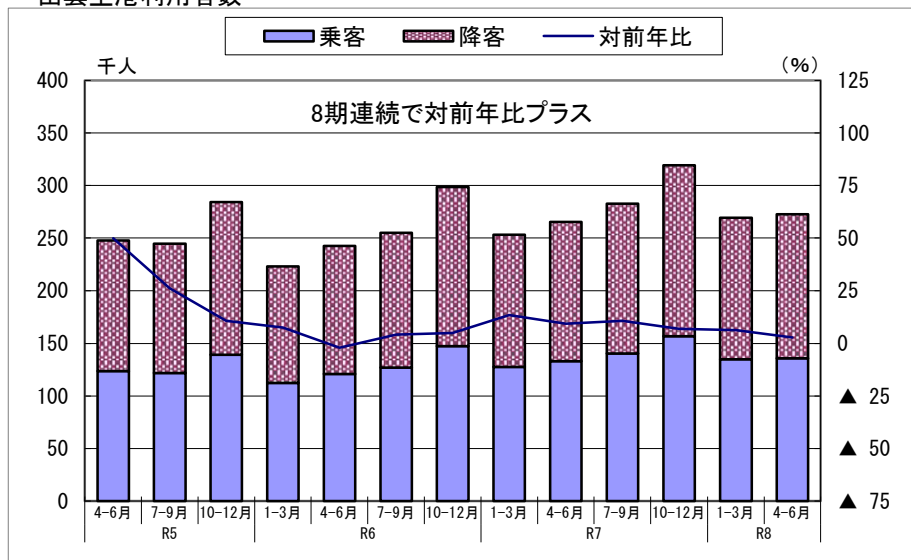
〔四半期値の動き〕

【 個人消費 】 持ち直しの動き

乗用車新車登録台数

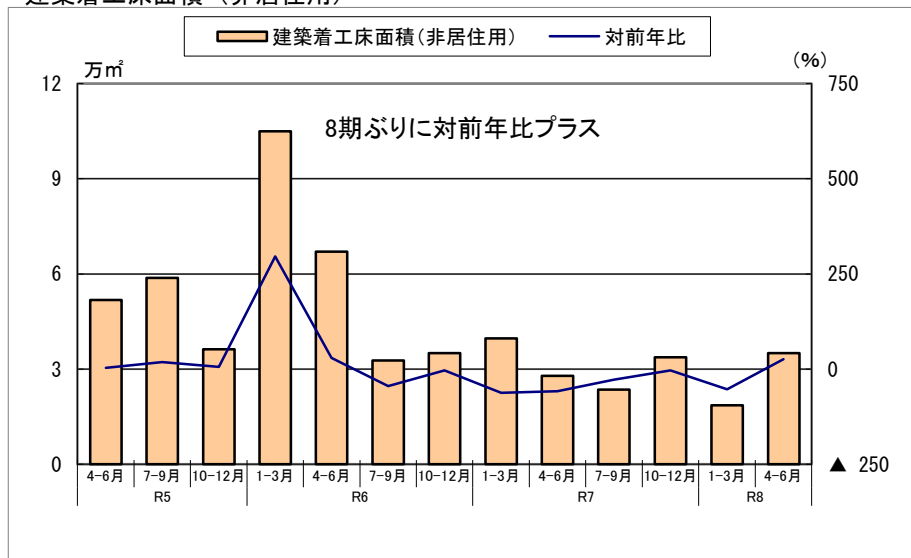


出雲空港利用者数



【 投資動向 】 一部に弱い動き

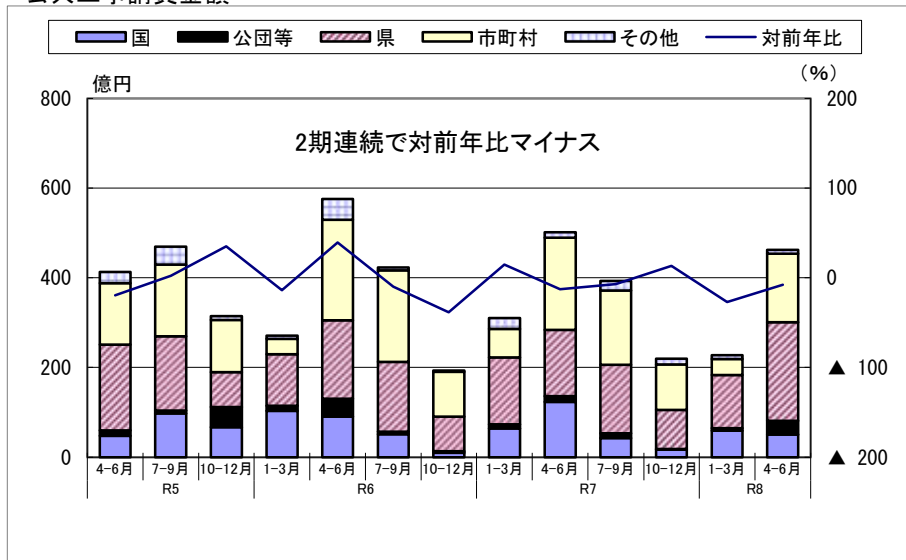
建築着工床面積（非居住用）



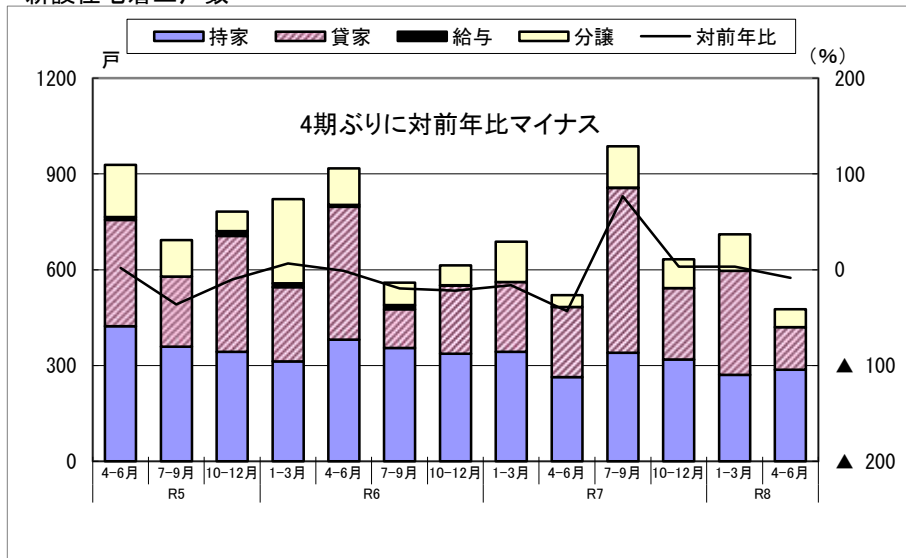
〔四半期値の動き〕

【投資動向】 一部に弱い動き

公共工事請負金額

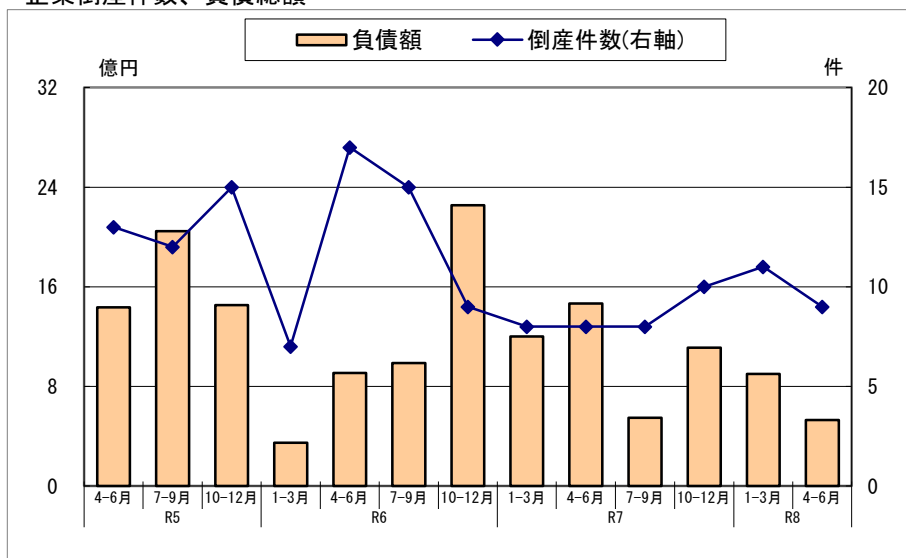


新設住宅着工戸数



【企業倒産】 倒産件数 9 件

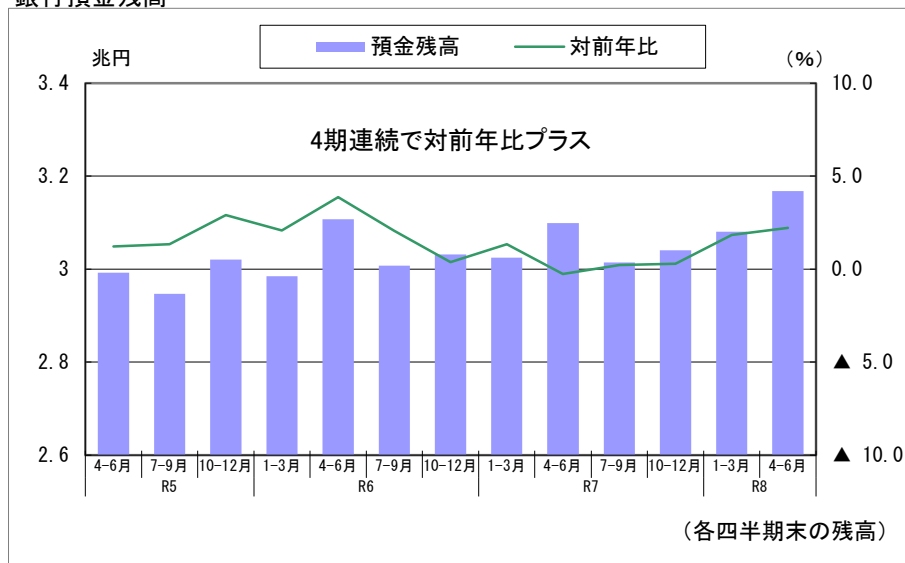
企業倒産件数、負債総額



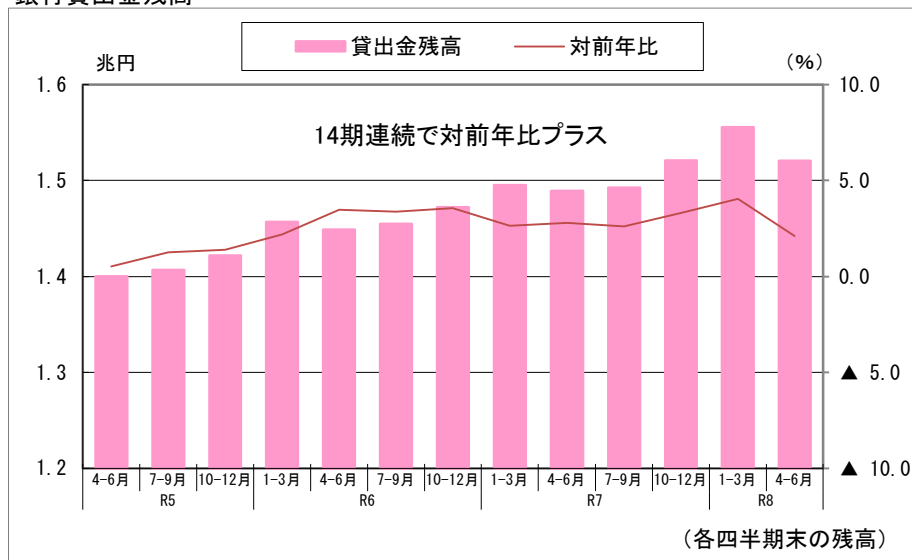
〔四半期値の動き〕

【金融情勢】 ～貸出金残高は対前年+2.1%増

銀行預金残高



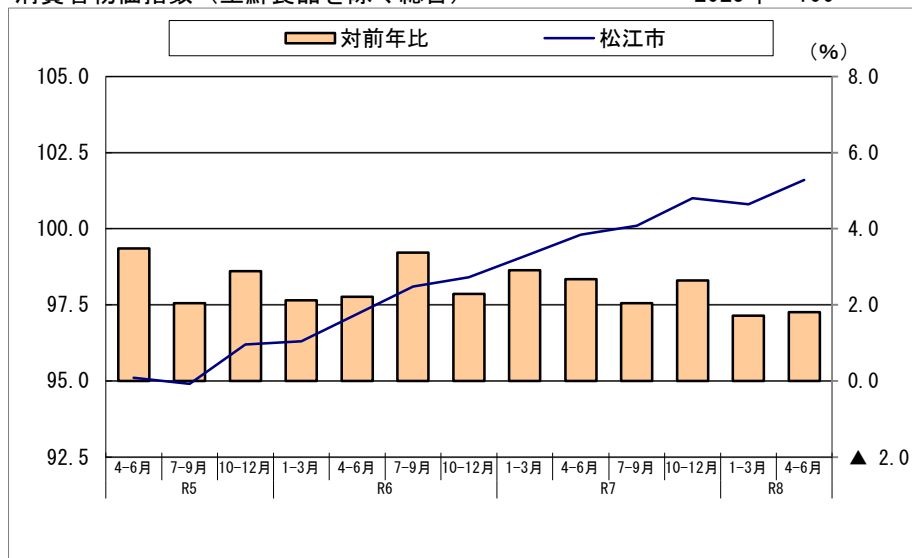
銀行貸出金残高



【物 価】 対前年+1.8%上昇

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

2025年=100

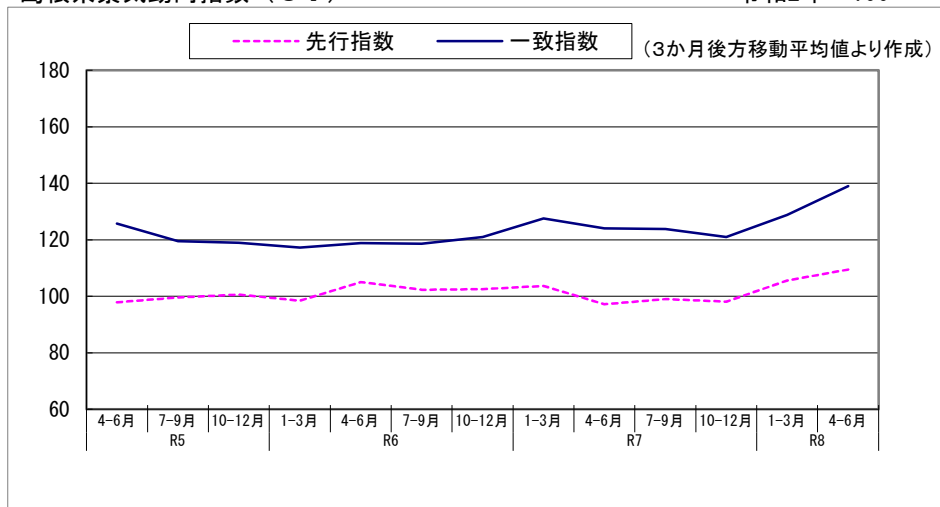


〔四半期値の動き〕

【 その他（参考） 】

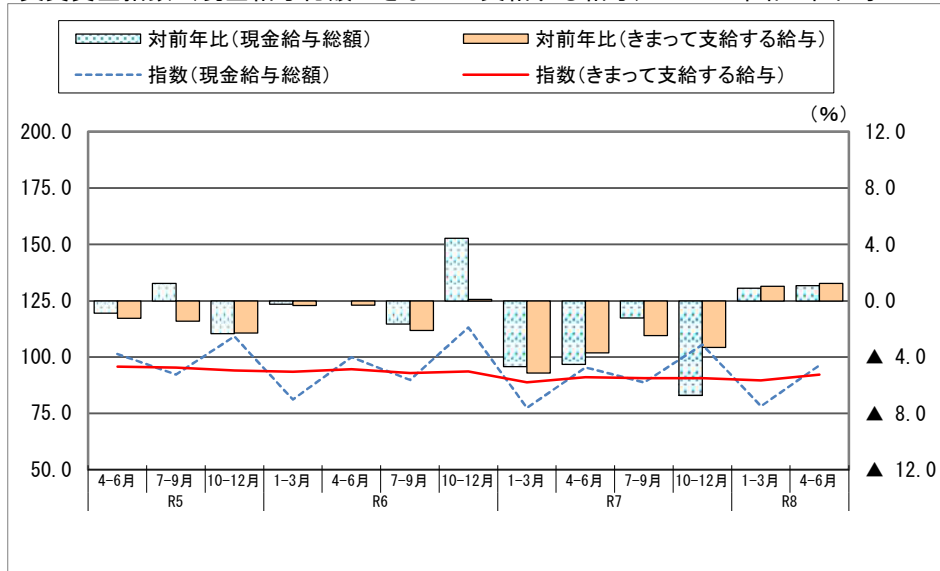
島根県景気動向指数（C I）

令和2年＝100



実質賃金指数（現金給与総額・きまって支給する給与）

令和2年平均＝100



法人企業景気予測調査結果（令和8年6月11日 財務省松江財務事務所）

令和8年4～6月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	8年1～3月 前回調査	8年4～6月 今回調査	8年7～9月 見 通 し	8年10～12月 見 通 し
全 産 業	▲ 14.4	(5.8) ▲ 4.8	(10.6) ▲ 1.9	5.8
製 造 業	▲ 26.3	(0.0) ▲ 2.6	(0.0) ▲ 2.6	5.1
非製造業	▲ 7.6	(9.1) ▲ 6.2	(16.7) ▲ 1.5	6.2
大 企 業	▲ 16.7	(0.0) 0.0	(0.0) ▲ 16.7	0.0
中堅企業	▲ 6.1	(6.1) 0.0	(9.1) 6.1	15.2
中小企業	▲ 18.5	(6.2) ▲ 7.7	(12.3) ▲ 4.6	1.5

※ () 書きは、前回(8年1～3月期)調査時の見通し